

# 金岡新聞

2月号

## 日本ロマン飛行 (18)

### 元乃隅稻成神社

山口県長門市にある元乃隅稻成神社(もとのすみいなりじんじや)は、昭和30年に地域の漁師の枕元に白狐が現れ「吾をこの地に鎮祭せよ」というお告げがあったことにより、島根県津和野町太鼓谷稲成神社から分霊された。昭和62年から10年間かけて奉納された123基の鳥居が100m以上にわたって並ぶ景色は圧巻である。



この断崖は国指定の天然記念物・名勝に指定されている

#### 2月生まれの有名な人

- 2/1 東出昌大 27歳
- 2/4 桐谷健太 35歳
- 2/6 デヴィ夫人 75歳
- 2/7 香坂みゆき 52歳
- 2/13 出川哲朗 51歳
- 2/16 多岐川裕美 64歳
- 2/17 吉瀬美智子 40歳
- 2/19 琴欧洲勝紀 32歳
- 2/22 狩野英孝 33歳
- 2/23 野口五郎 59歳
- 2/25 北大路欣也 72歳
- 2/27 徳永英明 54歳

『稲荷』神社は全国で4万社あるが、『稲成』は2社のみで、この『成』は成就に由来し、様々な願いが叶うと言われている。裏参道出口の高さ5mの鳥居の上部に小さめの賽銭箱が付いており、日本一入りにくい賽銭箱として有名である。どこから写真を撮っても絵になるが、裏参道口側から見下ろすように鳥居のトネルを撮るのがおすすめ。周辺には、海の大パノラマが広がる『千畳敷』や、海へと続く棚田『東後畑棚田』、少し車を走らせると『海上アルプス』と呼ばれる青海島など見所がたくさん。ドライブコースとしても人気がある。また、黄色波戸温泉、曲谷湾温泉、湯本温泉、俵山温泉など温泉の宝庫でもあり、夏は海水浴場としても人気が高いエリアである。

### 徳川家康も大好物だった 『シラウオ』

#### 『シラウオ』

シラウオ(白魚)はサケ目シラウオ科の小魚で、河口付近や汽水域に生息している体長5~10cmで、細くどがった魚体は、新鮮であればあるほど透き通って美しく、死後時間の経過とともに白っぽくなる。ハゼ科のシロウオ(素魚)と混同しやすいが、シラウオは背びれと尾ひれの間に脂びれがあり頭が尖っているが、シロウオは頭が丸いのが特徴。また、シラスはカタクチイワシ、マイワシ、イカナゴ、ウナギ、アユなどの稚魚である。北海道から九州沿岸、朝鮮半島、中国などに生息しており、主な産地は島根県の宍道湖や茨城県の霞ヶ浦である。旬は産卵期に川に上ってくる春の2~4月で、宍道湖では11月中旬に解禁され3月が最盛期とされる。古くから佃煮は有名だが、新鮮なのは生のままわさび醤油や酢味噌和えて食べられ、寿司種にもなる。天ぷらや卵とじなども美味しい。骨も含め、丸ごと食べるものなので、カルシウム、マグネシウム、リンなど、骨の生成に不可欠なミネラルをたくさん摂取できる。また、ビタミンAとなるレチノールが多く、活性酸素を抑え動脈硬化や心筋梗塞などの生活習慣病対策となる他、皮膚や粘膜の細胞を正常に保ち、免疫力アップにも期待できる。



シロウオ



シラウオ

メスはウロコがなく、集オスも15枚前後のウロコが1列に並ぶのみである



#### あけぼのや魚しろきこと一寸(芭蕉)

ごはんのお供にシラス干し、柔らかくて美味!